

研究者育成と 研究倫理教育の課題

～知識基盤社会における大学の責務～

※会場が変更になりました

2012年 12月 18日 (火) 15:30～17:30

東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟 4階 M401

現代社会は、知識・情報・技術が政治・経済・文化などの活動の基盤として飛躍的に重要性を増す「知識基盤社会」へ急速に移行しています。その結果、世界的に科学技術研究への投資と産業の連携が強化されてきました。こうした状況で、私的独占になじまず公共財として扱われてきた学術研究の性格は変容し、研究者の行動規範も変容してきた。研究不正問題は、1981年に米国下院科学技術委員会がとりあげて以来、競争的研究環境のもとで深刻な問題になっています。

日本においても、2000年代に日本学術会議による報告、声明が公表されているが、諸外国の取り組みに比べると大きく立ち遅れています。単なる研究不正にとどまらず、研究倫理の確立と、学部・大学院教育での行動規範教育が求められています。

このたび、東北大学高等教育開発推進センターでは、The Collaborative Institutional Training Initiative (CITI) と連携して、インターネットによる行動規範教育の普及を、大学連携共同教育推進事業「研究者育成のための行動規範教育の標準化と教育システムの全国展開」を進めている市川家國信州大学特任教授をお招きし、研究者育成のための行動規範教育に関するセミナーを開催することに致しました。理系・文系を問わず、ぜひご参加ください。

プログラム

講演：

「CITI Japan プロジェクトについて」

市川 家國 (信州大学医学部特任教授)

「研究倫理の確立の課題」

小谷 元子 (東北大学総長特別補佐 (研究担当)・理学研究科教授)

≪ CITI とは ≫ Collaborative Institutional Training Initiative (CITI) は、2000年4月、米国の10大学病院等からの篤志家により、上質で効率のよい倫理学習の機会をいかに臨床研究者に提供するのかをテーマとして結成されました。CITI が当初より手掛けたのは、eラーニング教材の作成と配信です。CITI 教材利用者数は111万人を超え、政府機関・大学病院を含む米国内の大多数の施設で採用されています。最近では、米国と共同研究を行う中南米はもとより、欧州、一部のイスラム圏、仏教圏諸国、中国でもCITIは利用され、2008年、WHOの生命倫理学教育機関として認定されています。

参加申込み方法 Webから申込みいただけます。 ※行事カレンダーからお進み下さい。

<http://www.he.tohoku.ac.jp/>

※Web申込み不可の場合は、氏名・所属・連絡先 (e-mail) を明記の上、pffp_office@he.tohoku.ac.jpまでお申込みください。

お問い合わせ

東北大学高等教育開発推進センター
大学教育支援センター
TEL.022-795-4471 Email.pffp_office@he.tohoku.ac.jp



主催 東北大学高等教育開発推進センター
Center for the Advancement of Higher Education
TOHOKU UNIVERSITY